

雨のなか、災害時に備えた訓練が行われました

9月1日 埼玉県会場・八潮市
第27回八都県市合同防災訓練



さいたまコープが救援物資配布訓練を行ったほか、医療生協さいたまの血圧測定・体脂肪チェック、全労済埼玉県本部の災害パネル展示などの企画で「防災フェア」に参加



さいたまコープ・ドゥコープ・生活クラブの車両3台で広域搬送訓練

東京湾北部を震源域とする直下型地震発生を想定した訓練が、約2,550人の参加で行われました。埼玉県生協連は「基本協定※」にもとづく9回目の参加で、広域搬送訓練、災害パネル展示、救援物資配布訓練、血圧測定・体脂肪チェック等の企画に、7生協・連合会の組合員・職員あわせて43人が参加しました。上田県知事をはじめ多くの方々に、県内生協の活動を紹介、アピールしました。

※1995年12月に埼玉県と締結した「災害時における県民生活の安定を図るための基本協定」

第42回埼玉県消費者大会 「平和」を次世代につなげていくために

“平和で安心して暮らせる公正な社会を実現しましょう！”を大会スローガンに22の消費者団体で実行委員会をつくり開催し、約800人の参加がありました。記念講演には医師で被爆者の肥田舜太郎氏が、自らの被爆体験とともに医師として被爆者治療にあたり感じたこと。いまま放射線による被爆が世界で起きていることなどを語り、「平和



肥田舜太郎氏 記念講演をされる

な世界を子ども達に手渡すため「核兵器廃絶」を、と参加者に呼びかけました。午後の5分科会には約400人が参加しました。



9月30日 協同組合間提携 埼玉県産米交流会「体験稲刈り」 親子で協力！子どもたちもおお張りきり



抜けるような青空のもと、生協組合員39家族164人が参加して稲刈りが行われました。JA全農さいたま「彩の米センター」の田んぼには、たわわに実った稲と、子どもたちが大喜びのバッタやこおろぎ・カエルも。鎌の扱い方の講習後、3つのグループに分かれ刈り取りを開始、30分程ですべて刈り取られました。

8月24日 国会議員へ要請 現状にあった生協法の改正を要請



土屋品子議員に要請

枝野幸男議員に要請

柴山昌彦議員に要請

厚生労働省や自民党内で生協法改正についての検討が始まったことを受け、埼玉県選出の衆議院議員、金子議員、土屋議員、枝野議員、柴山議員への要請を行いました。要請には、埼玉県生協連、さいたまコープ、ドゥコープから6人が参加。県域条項の撤廃と員外利用の緩和などの要求を説明し、(議員の皆さんには)現状に即した改正は必要とご理解をいただきました。

9月8日 生協ネットワーク協議会 第2回協議会「平和の学習」 “平和”を願いいま私たちにできることを学習



「原爆の図」展示室にて作品の説明を聞く参加者

学習と交流

平和の学習として、丸木美術館(東松山)の見学と学習を27人の参加で行いました。(故)丸木夫妻の共同制作による「原爆の図」を見学後、被爆体験をつづった「8月の晴れた日に」の朗読や、平和に関する紙芝居やクイズを行い、平和への願いや核兵器廃絶に向けて私たちにできることを交流しました。

NPO法人 埼玉消費者被害をなくす会 適格消費者団体をめざした活動をすすめています



第3回総会

10月16日「情報の収集・分析と申し入れ」の学習会

6月23日の第3回総会において、適格消費者団体をめざした活動を行っていくことが確認されました。活動委員会では学習をしながら、消費者被害防止に向けた「アンケート調査」「約款調査」「不当表示調査」の3チームに分かれて情報収集と検討をすすめています。今後、弁護士などの専門家を交えた検討委員会を立ち上げ、具体的な事例検討を行っていきます。

大型店舗「コープ今泉」が生まれ変わって再開店！

1980年から営業の「コープ今泉」（上尾市）が全面建て替えて、10月3日オープンしました。地域組合員・消費者の「普段の暮らしに役立つ店」をめざし、生鮮食品の価格の安さと品揃えの充実を基本に、惣菜売場の拡大、インスタペーカリーとイトインコーナーなどを設置。営業時間も朝9時から夜11時に延長して、利用しやすいお店になりました。



当日は約5千人の来店で大盛況

ドゥコープ

埼玉の若手生産者と田んぼ交流 “稲刈り” 体験

10月9日さいたま市岩槻区にある田んぼで、組合員113人と、生産者・JA関係者などが参加し稲刈りを行いました。カマの使い方を教わり、田んぼの中へ。無農薬栽培のため病害虫や日照不足が心配されましたが、見事に黄金色に育った稲穂にみんな大満足でした。



生活クラブ生協

食欲の秋！大満足の生き生き交流会

全国から83生産者を招いた“試食交流会”が、さいたまスーパーアリーナで9月24日行われました。来場者は組合員とその家族など約3,100人。一度にたくさんの生産者と会え、試食し交流もでき、改めて素材のよさを実感できたと参加者に好評でした。



「国産はりま鶏」を目の前で解体

たくさんの家族連れでにぎわって

「土」に触れ「農」に親しむ 山形庄内（鶴岡市羽黒町）“稲刈りツアー”

5月の「田植えツアー」で組合員さんが植えた羽黒地区の生産者の「ふーど米」の田んぼで、9月30日～10月1日組合員、生協スタッフ総勢40人が収穫体験をしました。2003年から始まったお米の産地「JA庄内たがわ」「庄内協同ファーム」との交流もまる4年になります。



埼玉西協同病院が“病院機能評価認定”を受けました

病院などの医療サービスを評価する第三者機関「日本医療機能評価機構」では、500以上のチェック項目を審査し、水準に至っている医療機関に対して「認定証」を交付しています。9月12日、埼玉協同病院、熊谷生協病院、秩父生協病院に続き、埼玉西協同病院も認定を受けました。引き続き、水準の維持・向上に努力していきます。



お父さんの出番です！ 農作業をつうじ親子の交流

これまで年長さんの畑は、夏休み前の収穫後そのままになっていました。この畑を使って、お父さんどうしが力をあわせて何かできないかと考え、9月下旬から11月下旬までの毎週土・日に農作業をすることにしました。草むしり～土おこし～種まき～間引き～収穫と、汗を流しながら作物を育てる喜びを共有し、交流も深まっています。



大根の間引き作業

土おこし

コープネット事業連合

災害時の通信・連絡の訓練を実施

7会員生協では、今年4月に共同購入センター・指定車両・店舗・物流・生産事業所・組合員施設・本部等への災害時の通信・連絡システムとして、MCA無線の再配置を行いました。9月15日事業所での操作習熟と、通信状況の確認を目的とした通信訓練を、会員生協・店舗・共同購入などで実施しました。



恒例の学食「冬の企画メニュー」試食会

10月4日、学生組合員24人の参加でにぎやかに「試食会」が行われました。学食は組合員の関心が一番高い事業で、メニューは試食会や一言カードから寄せられた組合員の声、現場の意見をベースに、フードコーディネーターのアドバイスを受けながら開発されています。今後もこうした組合員の“声”から学食を元気にしていきたいと考えています。

